



好學愛知  
自律敬愛  
質実剛健

# 鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

## 美しいことば

校長 豊島 真臣

平成二十八年は、恒例行事となつて「初日を拝む会」でスタートしました。三年生と本校職員がいつもは閉鎖されている屋上に集まり、日の出を待ちました。幸い、天気にも恵まれ桜島の右側から初日が昇り始めました。一斉に歓声が上がり、来たる試験の合格を祈願しました。

校長挨拶の後、全員に紅白まんじゅうが配られ、三年生は気分も新たに自習を始めました。この鶴信が発行される予定は、一月十五日、センター試験の前日です。三年生は会場の下見をして、最後のチェックと体調を整えている時だと思えます。激励会等で話してきたことですが、自分に自信をもって臨んでください。

さて、一・二年生、新年をどのように迎えましたか。「一年の計は元旦にあり」と言われます。今年一年をそれぞれの学年でどう迎えるのか、決意ができたでしょうか。強い目的意識、それに向かう意気込みと努力。その具現化のために、新年のこの機会を大事にしてください。

また、一月から三月の後期後半の期間は平成二十七年年度の締めくくりであると同時に平成二十八年年度のスタート準備の期間です。それに伴つていろいろなことが慌ただしく動きます。新入生も入学してきます。各生徒が、先輩に鶴丸魂を伝えられるよう、次の準備の意識でしっかりとした締めくくりをしてほしいと願っています。

ところで、皆さんの認識にある鶴丸魂とはどのようなものか。私はそのひとつに礼儀作法があると思います。私はそのひとつにも礼儀あり」といいますが、人間のあらゆる関係において礼儀は大切なこととされています。親密さの度合いにかかわらず、適度な礼儀のある行動は礼儀の上で重要視されることです。すべての人に「尊敬の気持ち」で接することは、自分を成長させる大きな糧となります。丁寧な言葉で、気持ちを込めた挨拶ができること、それは相手を優しく良い気持ちにさせます、なにより自分が

よさを感じられるはず。日本語の「美しいことば」についての調査結果でも「ありがたい」「おはよう(ございませぬ)」「さようなら」という日常的な挨拶のことばが上位に上っているようです。礼節を尊び、あらゆる人に「美しいことば」で接する態度や姿勢は、鶴丸生が最も尊敬し、継承すべき魂であると思えます。

朝礼で触れたことですが、心を込めた「清掃」も、相手を思いやる気持ちの表れだと思つていきます。「For Others」の校是が質的に高まって、「美しいことば」を使う、「美しい心」の持ち主として、生徒一人一人が平成二十八年を過ごしてほしいものです。



## 「幸せ」をもたらす「四つのモラル」

生徒指導課主任 脇田 政人

「何のために勉強するのか?」一度くらいは皆さんも考えたことはあるでしょう。特に、膨大な宿題が課されて、それが期限までに終わらそうもない追いつめられた状況で、この問いを頭の中で連呼した経験を持つ人が多いのではないのでしょうか。担任をして、二者面談をすれば、この種の問いをたくさん生徒たちから投げかけられます。そんな時、私

は決まっています。「将来、幸せになるためだよ」と答えてきました。これを聞いた多くの生徒は、煙に巻かれたような、納得したような、なまじいような表情をします。中には、「勉強をしつかりして、偏差値の高い大学に行つて、高収入の職を得て、好きな物を買えたりするから、幸せでいいことではないか」と、機転を利かせて答えてくれた人もいました。勿論、それも一理あるでしょう。しかし、私がここで言った「幸せ」とは、もっと普遍的な意味での幸せです。



ある学者がこんなことを言っています。「信頼を得るためには、次の四つのモラルが備わっていることが不可欠だ。それは、嘘をつかないこと、ルールを守ること、他人に親切にすること、勉強すること。」「なるほど、確かにこの四つだよなあ。」と共感しました。まず、「嘘をつかないこと」、「ルールを守ること」の二つは、当然でしょう。平気で嘘をついたりルールを破つたりする人間が信頼されるはず

はありませぬから。次に、「他人に親切にすること」ですが、親切さ≠利他心について、京セラの創業者である稲盛和夫さんは、「欲、すなわち私心を抑えることは、利他の心に基づくこと。自分よりも他者の利を優先する心は、人間の備えたすべての徳のうちで、最善のものであると思う。」と述べています。他人の幸せを願う行動ができるような人は、きっと信頼されるはず。

最後の「勉強すること」・・・これについては、私なりの解釈を与えてみようと思えます。よく勉強している人の言葉には、重みがあり説得力があるのに対し、不勉強の人の言葉は浅薄で独善的で受け入れ難い。ここでいう勉強とは、いわゆるただ覚えるだけの勉強ではなく、体験的に学んだこと、読書によって学んだこと、多くの人とコミュニケーションをとることによって学んだことなど、広い意味での学びです。よく学んでいて立派な人は、当然信頼されるでしょう。

前出の学者は、「この四つは、親の躰によつて幼い頃に体得されるべきであり、これが備わつた人間集団は健全な社会である。」と言及しています。そして、「本来、躰けられたいは、基礎的なモラルが備わつていない人間が増えたことが、現代社会を暮らすに「悲観的に」続いています。」

しかし、悲観ばかりしていてもしょうがありません。人間は、生涯にわたつて学びを続け「善く生きよう」と努力できる存在のほうです。幼い頃に躰が不十分であったのであれば、今から自分で自分を躰ければよいのです。もう一度繰り返しますが、「嘘をつかないこと・ルールを守ること・他人に親切にすること・勉強すること」の四つのモラルを常に意識して行動するようにすれば、私たちの身近な社会集団である家族・学校・地域のみならず、ひいては日本が世界が、思いやりと幸福に満ちたものと素晴らしいものになつていくのではないのでしょうか。

これから先、「勉強するのが嫌だなあ」と感じたときには、「将来、自分と周囲の人が幸せになるためにも、しっかりと勉強しよう」という前向きな発想で、机に向かつてみるのも悪くないかも知れません。この「四つのモラル」を追究し続けて、心豊かな人生

## 「初日を拝む会」開催される

一月一日、本校生徒館屋上において、恒例の「初日を拝む会」が実施された。この会は、三年生の生徒、職員を中心に毎年元旦、新年に向けての決意を新たにするとともに、来たる受験本番に向け、鶴丸高校三年生の結束をさらに固めることを目的とするものである。

ここ数年、残念ながら天候に恵まれず、初日を拝むことができなかったが、今年には素晴らしい天候に恵まれ、美しい初日を見ることができた。美しい日の出が見えると参加者からは歓声が上がり、それぞれの願いを込めて手を合わせ初日を拝んでいく姿が印象的でした。校長の激励の言葉、三年生応援団長、樺山資之さん(三ハR)がエールを送り、同窓会の皆さまから頂いた紅白まんじゅうが配られた。その後は、そのまま教室で自習をする生徒もおり、センター試験、前期試験、後期試験と続く戦いに向け、気持ちも新たに準備を再開していた。



## 2月の行事予定

2月	
1月	学年朝会
2火	
3水	金曜の授業
4木	推薦 帰国生徒等入学選抜 1,2年:45分2限授業(木の5,6)
5金	水曜の授業 (1限と5限入替) 45分授業 職員会議
6土	④ 悠学講座④
7日	
8月	全校朝会 校内弁論大会
9火	第2回学校保健委員会
10水	学校安全の日
11水	④ 建国記念の日
12金	木曜の授業
13土	④
14日	
15月	学年朝会 1・2年進路講演会 (7限) 45分授業 学年末考査時間割発表
16火	第3回学校関係者評価委員会
17水	職員会議 7限カット
18木	
19金	3年特別授業終了
20土	④
21日	
22月	全校朝会
23火	学年末考査 (1日目)
24水	学年末考査 (2日目)
25木	学年末考査 (3日目) 国公立大学前期日程試験(2/25~)
26金	学年末考査 (4日目) 卒業式会場設営
27土	④
28日	
29月	卒業式予行、同窓会入会式

昨年十二月四日、一・二年生のクラスマッチが開催された。男子は、サッカー・バレーボール・バスケットボール、女子は、バレーボール・バスケットボール・ドッジボールのそれぞれ三種目ずつで熱戦が繰り広げられた。総合優勝を勝ち取ったのは二二Rであった。各競技会場では、級友の奮戦を学級を上げて応援し、級友との親睦と団結を深めた。

## クラスマッチ開催される

